

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第 5 主日 5th Sunday in Ordinary time(C)

恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる (ルカ 5・10)

“Do not be afraid; From now on it is men you will catch(Lk 5・10)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun.10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事： 地区部会 Area Meeting

ミサの前は祈りの時間です。沈黙を守りましょう。

初聖体の準備

2016年5月29日(日)「キリストの聖体」の祝日に初聖体を行います。準備の勉強会を10時クラス・16時クラスとも2月28日(日)から始めます。該当するお子さんをお持ちの親御さんは井出ブラザーにお申込み下さい。対象は2016年4月現在で小学校3年生です。

韓国風おかゆ

先週の韓国風おかゆの販売は14,500円となり、50周年記念事業に献金いたしました。ご協力ありがとうございました。

献堂 50周年記念事業第3期献金報告

2015年第3期結果報告(12月末現在)

申込者数：137名(目標：200名)

献金合計：2,467,265円(目標：3,000,000円)

1期からの合計は8,206,263円です。

今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら佐々木満夫・佐藤隆一にお聞きください。

十字架の道行きの日程

今年の十字架の道行きは2月12日(金) 2月26日(金) 3月4日(金) 3月11日(金) 3月18日(金) 各日午前10:00からです。2月19日は神父様不在につきお休みとなります。

First Communion Application until Jan. only

The office is ready to accept application for 1st Communion on May 29, 2016 of children, baptized & at least 3rd grader. For application form, please ask the office.

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 8,206,263 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

ウルスラ修道会でのミサ

2月25(木), 3月17日(木)です。おいしいランチ付です。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

神よ、あなたに従う人を
導いてください。

その他今後の予定

02月07日(日) 年間第5主日
02月10日(水) 灰の水曜日 Ash Wednesday
02月14日(水) 四旬節第1主日
02月21日(水) 四旬節第2主日
02月28日(水) 四旬節第3主日

今週の掃除は2月13日(土)

松江・船堀地区です。よろしくお願いいたします。

This Week's Church Cleaning Duty

February 13th Saturday

Matsue・Funabori Group

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第5主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (5:1-11)

イエスがゲネサレト湖畔に立っておられると、神の言葉を聞こうとして、群衆がその周りに押し寄せて来た。イエスは、二そうの舟が岸にあるのを御覧になった。漁師たちは、舟から上がって網を洗っていた。そこでイエスは、そのうちの一そうであるシモンの持ち舟に乗り、岸から少し漕ぎ出すようにお頼みになった。そして、腰を下ろして舟から群衆に教え始められた。話し終わったとき、シモンに、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい」と言われた。シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦勞しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答えた。そして、漁師たちがそのとおりにすると、おびただしい魚がかかり、網が破れそうになった。そこで、もう一そうの舟にいる仲間に合図して、来て手を貸してくれるように頼んだ。彼らは来て、二そうの舟を魚でいっぱいにしたので、舟は沈みそうになった。これを見たシモン・ペトロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです」と言った。とれた魚にシモンも一緒にいた者も皆驚いたからである。シモンの仲間、ゼベダイの子のヤコブもヨハネも同様だった。すると、イエスはシモンに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」そこで、彼らは舟を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (5 : 1-11)

I will make you fishers of people

Jesus was standing one day by the lake of Gennesaret, with the crowd pressing round him listening to the word of God, when he caught sight of two boats close to the bank. The fishermen had gone out of them and were washing their nets. He got into one of the boats - it was Simon's - and asked him to put out a little from the shore. Then he sat down and taught the crowds from the boat.

When he had finished speaking he said to Simon, "Put out into deep water and pull out your nets for a catch." "Master," Simon replied "we worked hard all night long and caught nothing, but if you say so, I will pull out the nets." And when they had done this they netted such a huge number of fish that their nets began to tear, so they signalled to their companions in the other boats to come and help them; when these came, they filled the two boats to sinking point.

When Simon Peter saw this he fell at the knees of Jesus saying, "Leave me, Lord; I am a sinful man." For he and all his companions were completely overcome by the catch they had made; so also were James and John, sons of Zebedee, who were Simon's partners. But Jesus said to Simon, "Do not be afraid; from now on it is men you will catch." Then, bringing their boats back to the land, they left everything and followed him.

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださいればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後^{のち}に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることができますように。

あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる

年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、

目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会です。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）